

## 2024年は「選挙イヤー」

## 各国の選管職員が東京都知事選から投開票実務を学ぶ！

各国の研修員が7月7日(日)の東京都知事選を見学

2024年は史上最大の「選挙イヤー」とも言われているほど、世界各国で選挙が行われています。国際協力機構(JICA)は、政府開発援助(ODA)として、民主主義の根幹となる選挙を自由で公平なものにするため、「民主国家における選挙の適正な実施」についての本邦研修を6月27日(木)から7月12日(金)まで実施します。参加する研修員<sup>1</sup>(17名)は、中央選挙管理委員会の実務担当者をはじめとする、選挙を実施するうえでのキーパーソンとなる職員です。本研修では、有権者登録、投開票事務、主権者教育等の選挙管理実務に焦点をあてつつ、その前提となる民主主義の構成要素、選挙制度、選挙行政、更には選管とメディアの関係性などについても学び、信頼に足る選挙管理とは何かについて知見を共創します。

研修の一環として、7月7日(日)に東京都知事選を見学し、日本の選挙の投開票実務を見学します。今回の見学は、実際の投開票の現場を自分の目で確かめることでその学びを深め、自国に生かすことができるよう、世田谷区選挙管理委員会様の協力を得て企画・実施します。

今後行われる各国の選挙に向けて、日本の投開票実務について学ぶ様子の取材をぜひご検討ください。

## 【取材概要】

(1) 日時： **2024年7月7日(日)**

時間	概要
15:00~15:50	世田谷区役所(投票の様子を会場後方から見学)
20:00~22:00	世田谷総合運動場体育館(開票の様子を会場後方から見学)

## (2) 留意事項：

- ・対応可と確認できた研修員(当日JICAよりお伝えします)への撮影・取材が可能です。通訳(日・英)はJICAが対応します。



(イメージ：開票の現場を見学する研修員)

<sup>1</sup> 参加する研修員の国籍：カンボジア、ガボン、ギニア、マラウイ、モルディブ、マーシャル、ネパール、ナイジェリア、パレスチナ、パプアニューギニア、フィリピン、セントビンセント、南スーダン 参加研修員は急遽変更となる可能性があります。

## 【本件に関する取材申込み・問い合わせ先】

ご取材いただける場合、7月3日(水) 正午までに、以下にご連絡ください。

JICA 東京 産業開発・公共政策課 河内英慧

TEL 080-7137-2354 e-mail: [Kawachi.Hanae@jica.go.jp](mailto:Kawachi.Hanae@jica.go.jp)